

## 事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 30年3月31日

2次評価日（課長等） 30年3月31日

1 事業名	図書資料等整備事業	コード	103204
-------	-----------	-----	--------

2 担当部課	部等 教育部	課等 生涯学習課（図書館）	作成者 平林 洋子
--------	--------	---------------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政 策	生涯学習の推進	施 策	社会教育の充実
		予算科目	図書資料等整備費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	図書館法（第1条：図書館の設置及び運営について必要な事項を定める）		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要 （簡潔に）	利用者の求める図書資料、視聴覚資料を整え、その貸出及び資料提供を行う。		
目的	対象者	市民	
	意 図	利用者の教養、調査研究、レクリエーションに資すること	

5 事業の実施内容		*29年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容	
○図書購入 5,236冊（一般書 2,428冊、児童書 1,266冊、公民館図書室 583冊、団体用 151冊） 保育園幼稚園親子文庫 808冊			
○資料貸出件数 本館：図書 219,887冊、視聴覚資料 7,968点、公民館：図書 18,415冊 保育園幼稚園親子文庫：47,325冊 合計 293,595件			
前年度の課題への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料の有効活用が図れるよう、諏訪地域広域図書館情報ネットワークのシステムを更改し、予約等、利用者がより利用しやすくなるように改善した。</li> <li>6市町村での所在を勘案しながら閉架書庫の整理を行った。</li> </ul>		

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	27年度	28年度	29年度	30年度（予算）	
① 活動指標（指標名）				単位	冊
実績値	5,466	5,011	5,236		
*指標の説明	購入実績に基づき設定				
② 成果指標（指標名）				単位	件
目標値	323,000	310,000	290,000	300,000	
実績値	306,338	282,380	293,595		
達成度	94.8%	91.1%	101.2%		
*指標の説明	図書等貸出件数				
*目標値の設定方法の説明	前年度実績に基づき設定				

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	10,286,814	9,925,516	9,753,134	9,719,000
経常経費	10,286,814	9,925,516	9,753,134	9,719,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	5,600,000	5,600,000	5,600,000	5,600,000
正規職員の人数(人)	0.70	0.70	0.70	0.70
③ 合計コスト(①+②)	15,886,814	15,525,516	15,353,134	15,319,000
前年度比		97.7%	98.9%	99.8%
財源	15,886,814	15,525,516	15,353,134	15,319,000
一般財源				
内訳				
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	2,906	3,098	2,932	
前年度比		106.6%	94.6%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
ア)の①に含まれる負担金 等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	1	
成果指標の実績値 前年度比	104.0%	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	1	
成果指標の目標値 達成度	101.2%	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	<p>(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 限りある予算での幅広い利用者の要望や課題解決のための選書、資料収集が課題である。</li> <li>・ 資料の有効活用が図れるよう6市町村ネットワーク会議等で使いやすいシステムにすることが課題である。</li> <li>・ 資料の保存、活用、整理が課題である。</li> </ul>
改善方法	<p>(上記の課題をふまえて30年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料の有効活用が図られるよう6市町村の館長会議、ネットワーク会議にて連携強化をし、よりよいシステムになるよう改善を図る。</li> <li>・ 諏訪6市町村で、電子書籍やデータベースについて研究をし、また、資料保存や分担収集をさらに進める。</li> <li>・ 書庫の整理を進め、必要な資料の買い替えを進める。</li> </ul>
改善開始時期	平成30年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	<b>12 施策評価による30年度の優先度</b> *H28年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	--	---